

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和5年3月6日(2023.3.6)

【公開番号】特開2022-190020(P2022-190020A)

【公開日】令和4年12月22日(2022.12.22)

【年通号数】公開公報(特許)2022-236

【出願番号】特願2022-175481(P2022-175481)

【国際特許分類】

D 0 6 F 39/02 (2006.01)

10

【F I】

D 0 6 F 39/02 A

【手続補正書】

【提出日】令和5年2月24日(2023.2.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項1】

洗濯機本体と、

前記洗濯機本体の内部に設けられた水槽と、

所定量の洗濯処理剤を洗濯運転中に前記水槽内に自動で投入する自動投入装置と、を備え、

前記自動投入装置は、

複数回分の洗濯処理剤を貯留可能な処理剤タンクと、

前記洗濯機本体に設けられ前記処理剤タンクを着脱可能に収容するタンク収容部と、を有し、

30

前記処理剤タンクは、

前記処理剤タンクの内部と外部とを連通する投入口と、

前記投入口を開閉するタンク蓋と、を有し、

前記タンク蓋は、前記処理剤タンクが前記タンク収容部に収容されかつ前記タンク蓋が閉じられた状態で前記タンク収容部よりも外方へ突出する部分を有している、

洗濯機。

【請求項2】

前記洗濯機本体の内部と外部とを連通する開口部を開閉する本体蓋を更に備え、

前記タンク蓋は、前記処理剤タンクが前記タンク収容部に収容されかつ前記タンク蓋が閉じた状態で前記本体蓋側へ突出して前記タンク収容部と前記本体蓋との間の一部を覆う部分を有している、

請求項1に記載の洗濯機。

【請求項3】

前記洗濯機本体の内部と外部とを連通する開口部を開閉する本体蓋を更に備え、

前記処理剤タンクが前記タンク収容部に収容されかつ前記タンク蓋及び前記本体蓋が閉じた状態で、前記タンク蓋の上面と前記本体蓋の上面とは連なっている、

請求項1に記載の洗濯機。

【請求項4】

前記洗濯機本体の内部と外部とを連通する開口部を開閉する本体蓋を更に備え、

前記処理剤タンクが前記タンク収容部に収容されかつ前記タンク蓋及び前記本体蓋が閉じ

40

50

た状態で、前記タンク蓋の上面及び前記本体蓋の上面は前側へ向かって下降している、
請求項1に記載の洗濯機。

10

20

30

40

50